こんにちは。チーム D です！

私たちは、近年深刻化している鉄道・バスなど公共交通機関の減便・廃止により、自家用車を運転できない人々が日常生活の移動に困難を抱える「移動難民」問題の解消を目指して活動しています。特に、免許返納などで影響を受けやすい高齢者に焦点を当て、誰もが自由に移動や交流ができる持続可能なまちづくりによる地域活性化を目標としています。

交通先進国であるシンガポールで、私たちの課題解決に向けてのヒントが得られるのではないかと考え、PMA のシェアトップの MOBOT や自動運転シャトルが走る経済特区の見訪問、高齢者が多く住む HDB の見学や街頭インタビュー、高齢者支援団体へのインタビューなどを実施しました。シンガポールは、交通インフラが非常に発達し、都市開発や制度の面でも高齢者が住みやすい国であるということを学びました。

ニーアンの学生たちは、私たちが充実した調査活動を行えるよう、スケジュールの作成やインタビュー時のサポートなど、たくさんの協力をしてくれました。
また、帰国の日には、早朝にもかかわらず空港まで見送りに来てくれたり、帰ってからも暖かいメッセージをくれたことに感動しました。彼らとの交流は、シンガポール研修におけるかけがえのない思い出です。

シンガポールでの経験を活かし、最終発表会までがんばります！